



出張!

福祉のこころを育てる プログラム



第4次北区地域福祉活動計画
第2ワーキンググループ



問い合わせ先



第4次北区地域福祉活動計画推進委員会
社会福祉法人 名古屋市北区社会福祉協議会
電話 915-7435 FAX 915-2640
E-Mail: kitaVC@nagoya-shakyo.or.jp
<http://www.kitashakyo.jp/>



こちらの冊子は、区民のみなさまからいただいた寄附金を財源に作成しております。

本冊子について

「福祉のこころを育てるプログラム」は、小中学校等で実践している福祉教育学習と主に北区で活動する団体を中心とした、さまざまな出張講座を掲載しています。学校や地域など様々な場所、幅広い年齢層の方々に対し、福祉教育学習に取り組んでいただく目的で作成しました。

「ふくし」というと、「地域の中で困っている人のことを知り、助ける」というイメージをもたれる方が多いのではないのでしょうか。私たちは、「ふくし=ふだんのくらしのしあわせを身近な地域で実現すること」だと考えています。

学びを通じて、地域の中の多様性に気づき、「ふくし」を「我がこと」と捉え、改めて自分が生活する地域に目を向けていただくことを目指しています。そして、互いが知り合い助け合える地域となるにはどうしたらいいのかについて、みなさんと話し合い、行動に移すきっかけづくりになれば幸いです。

最新情報について

冊子に掲載のプログラム一覧は、令和3年10月時点のものです。最新版についてはホームページでダウンロード(ご確認)いただけます。

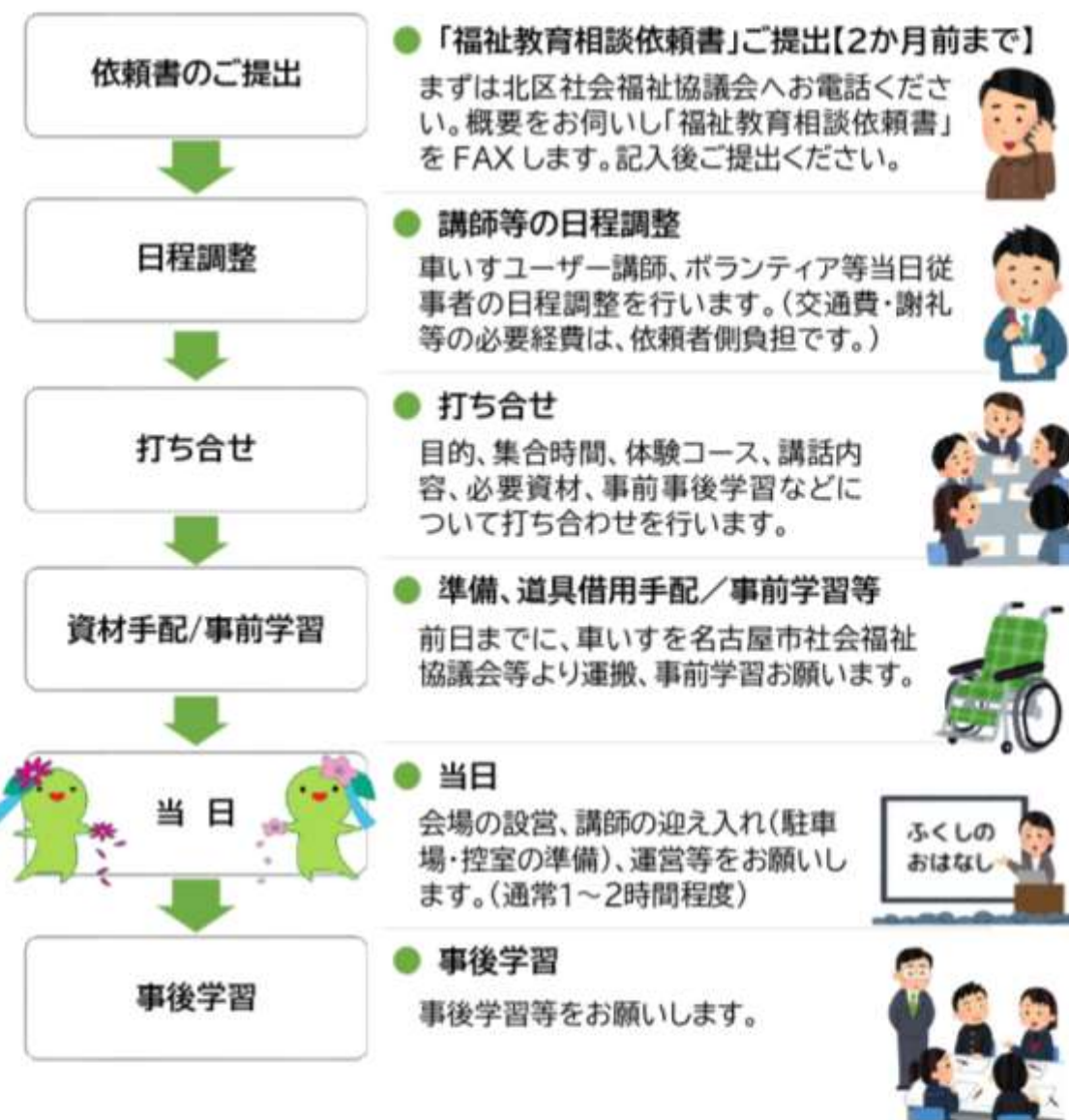
- 北区社会福祉協議会ホームページ
トップページ > 地域福祉に関すること > 福祉教育 > 出張！福祉のこころを育てるプログラム



依頼の流れ ※依頼先によって進め方は異なります

■ 北区社会福祉協議会にご依頼いただいた場合

- 『車いすユーザーのお話と車いす体験』(次ページ「障がい1”)を依頼された場合
※学校等が福祉教育学習の授業として依頼された例を掲載しました。進め方はこの限りではございません。まずはお電話いただき、ご希望等お聞かせください。



■ 北区社会福祉協議会以外にご依頼いただく場合

直接依頼先にご連絡いただき、依頼先の進め方に沿って打ち合わせや調整等行ってください。日程に余裕を持ってご依頼をお願い致します。(目安としては、2か月前)

福祉の心を育てるプログラム一覧

■ 障がい (9, 10は高齢者含む)

内容	プログラム(例)	講師/協力団体	連絡先
1 車いすユーザーのお話と車いす体験	車いすユーザーのお話と車いす体験・介助体験など。講話と体験を通じ理解を深めます。	当事者講師/福祉学習サポーター	北区社協
2 視覚障がい者のお話と見えない体験	視覚障がいの方のお話とガイド体験など。講話と体験を通じ理解を深めます。	当事者講師/愛フレンズしゃちほこ	北区社協
3 視覚障がい者のお話と点字体験	視覚障がいの方のお話と点字の体験など。講話と体験を通じ理解を深めます。	当事者講師/点訳ボランティア「北コスモス会」	北区社協
4 聴覚障がい者のお話とコミュニケーション	聴覚障がいの方のお話と手話・筆談・要約筆記体験など。講話と体験を通じ、理解を深めます。	きたわ会	北区社協
5 知的・発達障がい児者に関する体験とお話	知的・発達障がいの疑似体験を行い、知的・発達障がいの方・家族のお話を聞く。講話と体験を通じ、理解を深めます。	名古屋北区手をつなぐ育成会	北区社協
6 メンタルネットきた出前講座	こころの病気とその生きづらさについて正しく知っていただいたり、当事者やその家族の思いを届ける講座です。	メンタルネットきた	北区社協
7 「障がい」ってなんだろう?	障がい者についての基本的知識をわかりやすくお伝えします。	北区障害者基幹相談支援センター	Tel: 910-3133 FAX: 916-3665
8 障害者差別の解消について	障害者差別解消法の説明、「不当な差別」や合理的配慮の説明、事例紹介、車いすユーザーの話など。	名古屋市障害者差別相談センター	Tel: 856-8181 FAX: 919-7585
9 権利擁護と成年後見制度について	権利擁護、成年後見制度、意思決定支援など、判断能力が不十分な方を支援する方法を共に学ぶ講座です。	名古屋市成年後見あんしんセンター/市民後見人候補者バンク登録者	Tel: 856-3939 FAX: 919-7585
10 日常生活自立支援事業についての講義	判断能力が不十分な人が地域で安心して暮らすため福祉サービスの利用援助、金銭管理等を行う事業の話。	名古屋市障害者・高齢者権利擁護センター北部事務所	Tel: 919-7584 FAX: 919-7585

■ 高齢

内容	プログラム(例)	講師/協力団体	連絡先
11 高齢者とのふれあい、高齢者疑似体験	高齢者との交流、高齢者の疑似体験など。交流と体験を通して、理解を深めます。	当事者講師/福祉学習サポーター	北区社協
12 高齢者に関する講座や勉強会	介護保険、介護予防、孤立死防止、消費者被害、成年後見制度などのお話や介護予防や認知症予防のゲームや体操等。	北区いきいき支援センター	北区西部いきいき支援センター Tel: 915-7545 FAX: 915-2641
13 認知症に関する勉強会	認知症フレンドリーコミュニティ ^{※1} をめざし認知症の理解と共感を深める勉強会や認知症サポーター養成講座。	独立型キャラバンメイト等/いきいき支援センター	北区東部いきいき支援センター
14 認知症やACP ^{※2} 等の勉強会	地域包括ケア ^{※3} (特に認知症やACP=アドバンス・ケア・プランニング)に関する絵本等を用いた勉強会。	地域包括ケア推進会議関係機関等/いきいき支援センター	Tel: 991-5432 FAX: 991-3501
15 高齢者、認知症予防についての講座	高齢者向け体操教室、認知症予防プログラムの体験(コグニサイズ、回想法)。	上飯田福祉会館	Tel: 914-0831 FAX: 912-1308
16 のぼそ健康寿命! 社会参加でフレイル ^{※4} 予防	人と話す等の社会参加には健康寿命を延ばす効果が。フレイル ^{※4} とは?フレイルチェック、予防体操を行います。	北医療生活協同組合	Tel: 914-4554 FAX: 918-0235

■ 児童・子育て

内容	プログラム(例)	講師/協力団体	連絡先
17 児童館について	児童館の役割や乳幼児の子育て支援、中高生の居場所づくりの実際についてお話しします。	上飯田児童館	Tel: 916-7030 FAX: 916-7033
18 乳幼児期の居場所作り・まちづくり・子育て支援	子育てについて、子育て支援と地域のつながり、子どもの成長発達と大人の役割などの講義・ワークショップ。	(特非)子育て支援のNPO まめっこ	Tel: 915-5550 FAX: 同上
19 親子がほっとできる居場所づくり子育て支援	親子で過ごす時間が長い就園前の子どもと保護者の方を対象にした居場所づくりの実践をお話しします。	北医療生活協同組合	Tel: 914-4554 FAX: 918-0235

- (オ)マークはオンライン講座が可能です
- 講師の交通費・謝礼金等は依頼先にご確認ください。一覧にない内容もお気軽にご相談ください。

■ 災害

	内容	プログラム(例)	講師/協力団体	連絡先
20	防災と災害時 要援護者につ いてのお話・ 支援体験等	障がい当事者からのお話と、 その障がい特性に応じた支援 の体験。	北区自立支援協 議会防災地域づ くり部会	北区社協
21	命を守る 防災・減災 講座	①防災・減災論②非常食につ いて③災害ボランティアセン ターについて④高齢者・要支 援者の防災対策⑤その他	名古屋きた 災害ボランティ アネットワーク	北区社協

■ その他

	内容	プログラム(例)	講師/協力団体	連絡先
22	ふ・く・しにつ いてのお話	福祉に関するお話、北区社会 福祉協議会に関するお話で す。	北区 社会福祉協議会	北区社協
23	傾聴 ^{〔※5〕} について	傾聴ボランティアメンバーが 講師となり、「傾聴」とは何か 知っていただき、日常生活で 活用いただく講座です。	傾聴ボランティ アグループ/ 北区社協	北区社協
24	心の健康に関 する啓発	「死にたいぐらい辛くてもだい じょうぶ」や「ココロが元気に なる食べ物のお話」など。	(特非)スマイル	Tel:917-5580 FAX:916-1305
25 ㊦	仕事・暮らし 自立サポート センターとは	サポートセンター大曾根って 何？わたしに関係あるの？ど んな相談ができるの？分かり やすくお話します。	名古屋市仕事・ 暮らし自立サポ ートセンター大 曾根 地域連携	Tel:508-9611 FAX:508-9612
26	在宅療養に ついて	在宅療養についての理解を 目的としたお話。	北区はち丸在宅 支援センター	北区社協
27	多文化共生の まちづくりの お話	外国人と一緒に考える防災 まちづくり「防災出前講座」、 ユニバーサルな日本語 「やさしい日本語出前講座」	(公財)名古屋国 際センター (NIC(ニック))	Tel:581-0100 FAX:571-4673
28 ㊦	ひきこもりに ついてのお話	ひきこもりの理解を目的とし たお話。	名古屋市ひきこ もり地域支援セ ンター	Tel:483-2077 FAX:483-2029

- ㊦マークはオンライン講座が可能です
- 講師の交通費・謝礼金等は依頼先にご確認ください。一覧にない内容もお気軽にご相談ください。

✿ 動画教材について


福祉教育学習で実際にお話いただいている講師の動画を作成しました。講師調整が難しい時など、ご活用ください。(QRコードから動画紹介をご覧ください)



ふくしのお話 その1
車いすを使って
気軽に外出できる
社会を作ろう
車いすユーザー：中島正広さん
北区第4次地域福祉活動計画第1WG・北区社会福祉協議会

車いすユーザーのお話

車いすユーザーが普段どのような生活をしているか、『車いすを使って気軽に外出できる社会』を作るため、私たちにできることなどについてお話しいただきました。



インタビュー形式

今後も新しい動画の作成を予定しています。最新の動画情報はホームページ(P1参照)にてご確認ください。

✿ 用語説明 ※マークのついた用語の説明です

1. **認知症フレンドリーコミュニティ**:認知症のある人が、高い意欲を持ち、自信を持って意義のある活動に参加、貢献できると感じられるコミュニティ。北区は認知症フレンドリーコミュニティ宣言をしている。
2. **ACP(アドバンス・ケア・プランニング)**:自分が望む医療とケアについて、前もって考え話し合い、家族・大切な人・医療や介護の多職種と共有する取り組み。愛称:人生会議。
3. **地域包括ケアシステム**:高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしく、安心して日常生活が過ごせるよう、医療、介護、介護予防、住まい、自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。
4. **フレイル**:『健康な状態』と『日常生活でサポートが必要な介護状態』の中間のこと。
5. **傾聴**:『耳』『目』『心』を傾けて真摯な姿勢で相手の話を聴くコミュニケーションの技法。